



寿都探検ツアー ご参加に感謝

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会 広報紙 2022年7月号（No.41）

二回のツアー 無事開催！ 寿都の地質や地形を見てきました

5月28日と6月26日の二回にわたって、寿都や黒松内の地質や地形を見るツアーを行いました。町内外からのたくさんの参加ありがとうございました。

5月28日のツアーでは、黒松内の活断層を見学、化石採集も行いました。案内してくださったのは小野有五先生、能條歩先生、岡村聡先生。参加者は41人でした。

道の駅トワ・ヴェールIIに集まった一行は、添別川沿いの80～90万年前の地層で化石採集をしました。河原でハンマーを叩くと、貝の化石がいっぱい取れて子どもたちも大喜び。いまは内陸の黒松内も、昔は海の底だったんだということがよく分かりました。

また、婆沢川では、活断層を実際に見ながら、解説を受けました。黒松内低地帯には、いくつもの活断層があるのですが、見えているのはごく一部とのこと。寿都から黒松内の付近は、プレートが押し合っていて、いまも動いており、そうやって出来たのが寿都の丸山だそうです。

なにも知らずに生活していたら、気付かない。私たちの住んでいる大地は底知れぬ力を持っている。自然を侮ってはいけないと改めて思った一日となりました。

左の土は黒っぽくて、右の土は白っぽいでしょう。左の地層に右の地層がのしあがって、この活断層ができたんです。



活断層を説明する小野先生



添別川の貝の化石

6月26日のツアーでは、滝ノ潤と弁慶岬の岩石を観察しました。案内して下さったのは、能條歩先生、岡村聡先生。参加者は36人でした。

一行はまず滝ノ潤から海岸を歩きました。つぎに弁慶岬から海岸に下りました。どちらも、寿都に住んでいても、なかなか行かない場所で、子どもたちも大喜び。

寿都町周辺は800万年前は海底にあり、100m四方の噴火口からマグマが湧き出る激しい海底火山活動が起こっていたそうです。そして、過去約10万年で、海岸が弁慶岬の標高まで約40mも隆起してきたとのことでした。

岡村先生は、

- ・このような脆い岩は悪いことばかりではない。日本海側独特の美しい海岸線を作ってくれる。
 - ・日本とフィンランドの地層は成り立ちから今に至るまで全く異なる。
 - ・今の技術では日本で安全に地層処分することはできない。技術と議論が発達するまで地上で暫定保管するべきだ。
 - ・寿都町周辺の岩盤では、無数の亀裂が生じることで、10万年の間に地下で放射能漏れが起きて大惨事を起こす恐れがある。
- などと説明していただきました。

この岩は、海底の火山が爆発して1000°Cくらいの熱いマグマが海水で急激に冷やされてできたものなんです。だから非常に脆い。



滝ノ潤の岩を説明する岡村先生



三回目のツアーも計画中です。ご参加よろしくお祈いします。

福島事故で 最高裁判決 原発事故の責任は国にはない

福島原発事故の被災者が国に損害賠償を求めた裁判の判決が6月17日、最高裁から言い渡されました。結果は、国の責任なし、でした。

国が推進した原子力政策で故郷を追われたにもかかわらず、国に責任はないということに驚きます。それと同時に、では、核のゴミの最終処分場ではどうなのだろう、と疑問が出てきます。こういう判決がまかり通るのなら、もし、私たちの町に核のゴミが埋められ、それが漏れ出し、私たちが住めなくなったとしても、国は責任をとらないということになるのでしょうか。

国のやることに間違いはない、と幻想を抱くのはやはり危険です。この判決は私たちに警鐘を鳴らしてくれているのです。

原発事故 国の責任認めず

最高裁、避難者訴訟で初判断
対策命じても「防げず」

東京電力福島第一原発事故で被災者を受け住民が国に損害賠償を求めた4件の集団訴訟で、最高裁判事小杉(菅野博之)は17日、国の責任を認めない判決を言い渡した。現実の地震・津波は想定よりはるかに大規模で、防護施設を設けても事故は防げなかったと判断した。裁判官4人のうちの多数意見で、1人1人の責任を認める反対意見は述べた。

裁判官の1人 反対意見
原発事故は「国が国民の安全を守る義務を負う」という立場から、国は従来通り責任を負うべきである。後述の同種訴訟で国の責任は否定されていない。菅野裁判長、革新1人、保守2人、自由1人の多数意見は、原発事故以前の津波対策は防衛が基本だった。国の地震予測「長期評価」に基づく想定よりもはるかに大規模だった。国が長期評価を前提に東電に防護施設を設置させても事故は避けられなかった。

菅野裁判長は「防護施設の設置が基本だった」と位置づけ、「それだけでは不十分。考えが育たなかった」として、対策を取ったとしても防げなかったと述べた。だが、国に責任はない。東京電力が福島第一原発事故で最大の被害者であることは、判決で認められている。津波予測の信頼や、度もたれを定める委員会が「(2)には認められなかった」という理由も、国が責任を認めなかった。当時「緩い」規制の水準を認める国が命を失ったことを追悼する。判決は、被災者の苦しみや不安を軽減する。

解説 不
対策を取ったとしても防げなかったと述べた。だが、国に責任はない。東京電力が福島第一原発事故で最大の被害者であることは、判決で認められている。津波予測の信頼や、度もたれを定める委員会が「(2)には認められなかった」という理由も、国が責任を認めなかった。当時「緩い」規制の水準を認める国が命を失ったことを追悼する。判決は、被災者の苦しみや不安を軽減する。

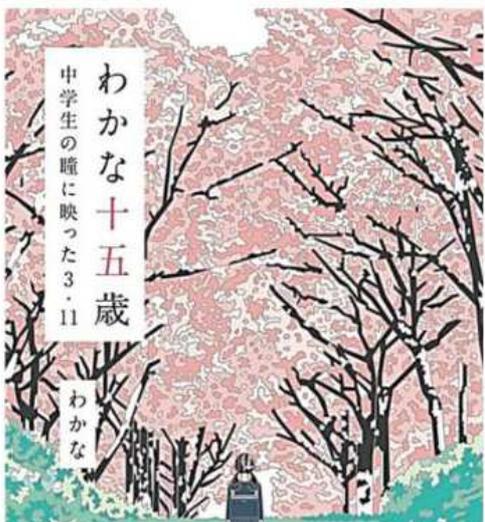
最高裁前で、判決について説明する馬奈本麻太郎弁護士(左)の周りに多くの原告らと報道陣が集まった。17日午後9時24分、東京都千代田区、井手さゆり撮影

2面「想定外(災害)」
10面「判決要旨」
29面「判決要旨」
30・31面「原告の思い」

に国が公表した地震予測「長期評価」に基づき、電子会社が保証に「防げず」として、対策を取ったとしても防げなかったと述べた。だが、国に責任はない。東京電力が福島第一原発事故で最大の被害者であることは、判決で認められている。津波予測の信頼や、度もたれを定める委員会が「(2)には認められなかった」という理由も、国が責任を認めなかった。当時「緩い」規制の水準を認める国が命を失ったことを追悼する。判決は、被災者の苦しみや不安を軽減する。

朝日新聞 6月18日

～ 耳を傾けてみませんか？ ～



わかなさん
「わかな十五歳 中学生の瞳に映った3・11」の著者。中学卒業式が間近だった15歳の時、福島県伊達市から山形県に避難。2015年より北海道在住。

福島第一原発事故の避難者は、子どもたちへの被ばくを避ける一心で、母子避難、父子避難、あるいは世帯全部の避難を余儀なくされてきました。では、その子どもたちは当時どう感じ、大きく変わった生活についてどう受け止めてきたのでしょうか。11年経ち成長した子供たちが発信を始めています。

日にち: 7月23日(土)

開場: 13:30

開演: 14:00～16:00

場所: ウイズコム大ホール

参加費無料

申込不要

子どもだった原発被害者が
今語り始めていること。

7月10日
選挙特番

太田光さん、河野太郎さんに物申す

7月10日の参議院選挙特番（TBS系列）で、太田光さんが自民党の河野太郎広報本部長に、核のゴミ最終処分場建設の議論が「骨太の方針」、各種選挙関連のパンフレットに一行も書かれていないと指摘されました。

「最終処分場と日本のエネルギーのことを、人口の半分近くが高齢者の二つの自治体だけが議論し続けている。自民党があえて日本のみんなに知らせていないのは不親切じゃないか。無責任じゃないか。だとしたら、原発再稼働も廃炉も福島の話も進むわけがない問題であって、ほかの候補地を募るなりするべき。あまりにも背負わせている未来が…。彼らが論じているのは自分の生活のことじゃない」



TBS系列7月10日

選挙で争点を隠されようとも、太田さんのようにちゃんとわかってくれている人はいます。寿都で起きているおかしなことに粘り強く声を挙げていきましょう。

美味しい我が故郷⑨



今日のランチは、みなとま〜れのほっけカレーと寿がきラーメン。ごちそうさまでした♪

町民の会川柳⑪

いつ来るの 子どもの笑顔が 見られる日
対話から 生まれる平和 願いたい
七夕に 願うは皆の 幸せを
原発の 事故の責任 国になし
核ゴミの 責任だれが 持つのかな
被害者に 犠牲押し付け 知らんぷり
事故起きた のはソ連だから 言っていた
責任を 押し付けられる!? 子・孫世代
希望なし? 投票率に 表れる
国策とは 嘘を広める 愚策なり
「天の声」 我が町なしと 祈る民
地層処分 対話と談合 良く似てる
残したい きれいな寿都 子どもらへ
できるかな 地層処分 東京で

(じ)(じ)(つ)(つ)(つ)(ま)(ま)(た)(た)(た)(た)(の)(の)(の)

あなたの川柳もぜひお寄せください。
kakugomino@gmail.com

チラシ配布について

町民の会のチラシは、新聞折り込みのほか、美容室ミリアン、ペンションメロー、吉野商店など町内数ヶ所で配布しております。また、事務局にご連絡いただければ、お渡しできます。

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6

TEL/FAX : 0136-62-3630 kakugomino@gmail.com

HP : <http://kakugomi.no.coocan.jp/>

FB : <https://www.facebook.com/106569234530018/>

北海道銀行寿都支店(店番号 304)普通 0481374

ゆうちょ銀行 記号:19070 番号:44246811



2022年7月23日発行